

# 茨城町学校跡地利活用計画（案）

平成27年4月

# 目 次

1	背景及び目的	1
2	学校跡地利活用の基本的な考え方について	2
3	学校跡地の利活用方針について	3
4	学校跡地利活用計画（案）について	
	（1）石崎小学校	4
	（2）広浦小学校	5
	（3）川根小学校	6
	（4）上野合小学校	7
	（5）沼前小学校	8
	（6）駒場小学校	9

## 1 背景及び目的

急激に変化する社会情勢を背景に、これまで経験したことのない急速かつ深刻な少子高齢化による児童生徒数の減少など、学校を取り巻く教育環境は、大きく変化しております。

このような中、中長期的な展望に立った学校のあり方について、平成23年3月に「茨城町小中学校再編計画」が策定され、本計画に基づき、平成28年3月までに6校の小学校が閉校となります。

学校は、地域住民の代々の学びの場として、地域との関わりも深く、コミュニティや地域活動を支える中心的な場であり、地域のシンボリックな存在でもあります。

学校跡地については、町全体のまちづくりの方向性と地域住民の意向を尊重し、地域を活性化させるという観点から有効に活用していくことが、本町の重要な課題となっております。

このような状況を踏まえ、今後の学校跡地利活用についての指針とするために、跡地利活用の基本的な考え方をここに示します。

### ◆統合の概要

年 月	統合する小学校	統 合 校
平成27年4月	川根小学校 上野合小学校 沼前小学校 駒場小学校	青葉小学校 (旧梅香中学校跡地に開校予定)
平成28年4月	石崎小学校 広浦小学校 長岡第二小学校	葵小学校 (現長岡第二小学校に開校予定)

## 2 学校跡地利活用の基本的な考え方

### (1) 町民の方々の意見反映

学校跡地は、地域住民の身近なコミュニティの場として、思い出深い場所であることに鑑み、アンケート調査、学校区別広聴会、住民説明会及びパブリックコメントを実施し、地域の御意見、御要望を十分に配慮した上で、利活用の検討を行いました。

### (2) 地域振興

学校跡地は、基本的には、公共施設等として利活用する方向で、施設の状況、立地条件、地域性なども考慮しながら、幅広い視点から総合的に勘案し、地域の活性化や交流の場として、最大限に有効活用が図れるよう利活用の検討を行いました。

### (3) 町施設としての利活用

文化的施設の代替施設等、町の施設として学校跡地を有効活用できるものは、利活用する検討を行いました。

### 3 学校跡地の利活用方針について

#### (1) 校舎について

閉校となる6校のうち耐震基準を満たしているのは、駒場小学校のみであり、引き続き有効活用を図っていきます。他校については、耐震補強が必要となることから、利活用目的、費用対効果、管理上の安全性等を勘案しながら施設の再利用について検討し、最終的に再利用しないと決定した場合は、校舎の解体・撤去について検討していきます。

#### (2) 体育館について

全ての学校で耐震基準を満たしていることから、引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行うとともに、防災拠点、地域の避難所として有効活用を図っていきます。

#### (3) グラウンドについて

引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行うとともに、緊急時の避難場所、ドクターヘリの緊急離発着所として有効活用を図っていきます。

#### (4) 学校跡地の機能分担について

アンケート調査や学校区別広聴会などによる地域の御意見や御要望を踏まえ、各学校の施設状況、立地条件や地域性を考慮しながら、幅広い視点から総合的に勘案し、各学校区に機能を分担させ、その地域にふさわしい利活用の検討を行いました。

#### (5) 維持管理について

地域や各団体の方々に利活用していただきながら、できるだけ地域や各団体の方々のご協力をいただきたいと考えております。必要な行政支援については、検討を行っていきます。

## 4 学校跡地利活用計画（案）について

### （1）石崎小学校

<b>【利活用の方向性】</b>
子育て世代向けのミニ公園，子育て支援事業や高齢者向けのスポーツ施設など，多世代が交流できる拠点づくりを検討する。また，町の農業振興を図るため，農業関連施設の誘致などについて検討する。
<b>【校舎】</b>
昭和43年～44年に建築され，築後45年～46年が経過しており，施設の老朽化が激しい状況であり，校舎を再利用するには，耐震補強や大規模改修工事が必要となり，多額の経費を要するため，費用対効果や管理上の安全性等を勘案し，最終的に再利用しない場合は，段階的に解体・撤去について検討する。
<b>【体育館】</b>
引き続き，スポーツ団体等への施設開放を行い，有効活用を図る。また，町民の安全・安心を守るため，災害時の避難所として，防災機能の充実を図り，地域の防災拠点とする。さらには，町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。
<b>【グラウンド】</b>
引き続き，スポーツ団体等への施設開放を行うとともに，緊急時の避難場所，ドクターヘリの緊急離発着所として有効活用を図る。

## (2) 広浦小学校

<b>【利活用の方向性】</b>
町のシンボルである涸沼や観光の拠点である涸沼自然公園などに近接しており，平成27年6月に涸沼がラムサール条約湿地登録が予定されており，観光振興や地域の活性化を図る観点から，宿泊施設や体験学習施設の整備などについて検討する。
<b>【校舎】</b>
昭和53年建築であり，閉校となる他校と比較しても新しい施設であり，かつ立地条件等を考慮し，耐震補強や大規模改修工事など，既存施設の有効活用について検討する。
<b>【体育館】</b>
引き続き，スポーツ団体等への施設開放を行い，有効活用を図る。また，町民の安全・安心を守るため，災害時の避難所として，防災機能の充実を図り，地域の防災拠点とする。さらには，町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。
<b>【グラウンド】</b>
引き続き，災害時の避難場所，ドクターヘリの緊急離発着所として，有効活用を図る。

### (3) 川根小学校

#### 【利活用の方向性】

町民の憩いの場となるミニ公園や町運動公園の施設を補完するスポーツ施設として多世代が交流できる拠点づくりを検討する。また、中長期的には、若者の定住促進や地域の活性化を図るため、住宅整備などについて検討する。

#### 【校舎】

昭和43年～44年に建築され、築後45年～46年が経過しており、施設の老朽化が激しい状況であり、校舎を再利用するには、耐震補強や大規模改修工事も必要となり、多額の経費を要するため、費用対効果や管理上の安全性等を勘案し、最終的に再利用しない場合は、段階的に解体・撤去について検討する。

#### 【体育館】

引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行い、有効活用を図る。また、町民の安全・安心を守るため、災害時の避難所として、防災機能の充実を図り、地域の防災拠点とする。さらには、町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。

#### 【グラウンド】

引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行うとともに、緊急時の避難場所、ドクターヘリの緊急離発着所として有効活用を図る。

#### (4) 上野合小学校

<b>【利活用の方向性】</b>
町民の憩いの場となるミニ公園，都市部との交流の拠点やバイオマスエネルギー等の再生可能エネルギー施設について検討する。
<b>【校舎】</b>
昭和48年に建築され，築後41年が経過しており，施設の老朽化が激しい状況であり，校舎を再利用するには，耐震補強や大規模改修工事が必要となり，多額の経費を要するため，費用対効果や管理上の安全性等を勘案し，最終的に再利用しない場合は，段階的に解体・撤去について検討する。
<b>【体育館】</b>
引き続き，スポーツ団体等への施設開放を行い，有効活用を図る。また，町民の安全・安心を守るため，災害時の避難所として，防災機能の充実を図り，地域の防災拠点とする。さらには，町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。
<b>【グラウンド】</b>
引き続き，スポーツ団体等への施設開放を行うとともに，緊急時の避難場所，ドクターヘリの緊急離発着所として有効活用を図る。

## (5) 沼前小学校

<b>【利活用の方向性】</b>
町スポーツの活性化を図るため、スポーツ拠点施設として利活用を図り、グラウンドをサッカー場として、全面芝生化の整備などについて検討する。
<b>【校舎】</b>
昭和42年～43年に建築され、築後46年～47年が経過しており、施設の老朽化が激しい状況であり、校舎を再利用するには、耐震補強や大規模改修工事も必要となり、多額の経費を要するため、費用対効果や管理上の安全性等を勘案し、最終的に再利用しない場合は、段階的に解体・撤去について検討する。
<b>【体育館】</b>
引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行い、有効活用を図る。また、町民の安全・安心を守るため、災害時の避難所として、防災機能の充実を図り、地域の防災拠点とする。さらには、町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。
<b>【グラウンド】</b>
引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行うとともに、緊急時の避難場所、ドクターヘリの緊急離発着所として有効活用を図る。

## (6) 駒場小学校

### 【利活用の方向性】

耐震基準を満たしていることから、改修工事を行い、文化的施設の代替施設として利活用し、町民が優れた文化活動に触れる機会を確保し、文化事業の充実を図る。また、将来にわたり保存すべき町の貴重な資料、民具等の保管場所や高齢者向けのスポーツ施設などについて検討する。

### 【校舎】

耐震基準を満たしており、かつ昭和51年、57年の建築であり、閉校となる他校と比較しても新しい施設であることから、改修工事を行い、既存施設の有効活用を図る。

### 【体育館】

引き続き、スポーツ団体等への施設開放を行い、有効活用を図る。また、町民の安全・安心を守るため、災害時の避難所として、防災機能の充実を図り、地域の防災拠点とする。さらには、町民の健康の拠点づくりなどについて検討する。

### 【グラウンド】

引き続き、緊急時の避難場所やドクターヘリの緊急離発着所として、有効活用を図る。また、青葉小学校での行事や町のイベント開催時の臨時駐車場として利活用を図る。